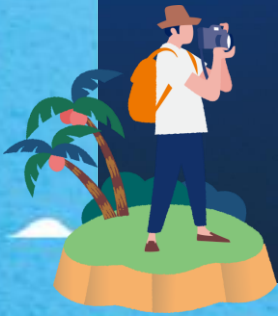


うるま市 (沖縄県)



うるま市の島しょ地域は、有人無人の10の島々があり、唯一の有人離島である津堅島は、「ビティしま（私の島、皆の島の意）」と呼ばれ親しまれています。島はユイマール（助け合い）で支え合う半農半漁の暮らしが営まれてきました。島の中心部にはニンジン畑が広がり、イノー（礁池）と呼ばれるサンゴ礁に囲まれた浅い海では、沖縄一の生産高を誇るモズク養殖行われています。

島には川がなく水が乏しいため、稲作の歴史はありませんでしたが、海の幸、畑の幸に恵まれ、ときに海の物と畑の物の物々交換を交えたユイマールの暮らしの形が今も引き継がれています。

沖縄の原風景が残る島しょ地域の中でも、歴史的な文化や風習が色濃く残り、ゆったりとした時間の流れを感じることができる島です。

うるま市HP

<https://www.city.uruma.lg.jp>



島での暮らし



島での生活

- ・ウチナーソウグッチ
- ・ハチウクシー
- ・ナンカンスクイ
- ・フバナウマチー
- ・ミージュールクニチ
- ・ヒガン
- ・サングウチャー
- ・ハクルウガン
- ・シーミー
- ・ハーリー
- ・ウイミ
- ・盆
- ・シバサシ
- ・ウシデーク
- ・カーウガン
- ・シマクサラー
- ・マータンコー
- ・ムーチー
- ・トゥシヌユルー

島での仕事

農業、漁業

